

指定管理施設の管理運営評価票（評価対象年度：令和2年度）

施設所管部署	生きがい・交流部 文化振興課
評価対象期間	令和2年 4月 1日 ～ 令和3年 3月31日
評価対象年度指定管理料	169,060,000円

1. 施設の概要等

施設の概要	名称	ディスカバリーパーク焼津 天文科学館
	所在地	焼津市田尻2968-1
	設置目的	科学教育及び文化の振興を図ることを目的とする
	設備の概要	(施設面積) 2,828.23㎡ (施設内容) 天文台、プラネリウム、展示・体験室、展望スペース

2. 指定管理者の概要等

指定管理者	名称	公益財団法人 焼津市振興公社 代表者 理事長 吉永 律子
	所在地	焼津市三ヶ名1550番地
指定管理業務の内容		<input type="checkbox"/> 天文科学館の事業の実施に関する業務 <input type="checkbox"/> 使用の許可に関する業務 <input type="checkbox"/> 観覧料の収受に関する業務 <input type="checkbox"/> 施設及び附属設備の維持及び管理に関する業務 <input type="checkbox"/> その他市長が必要と認める業務
指定期間		平成28年 4月 1日 ～ 令和3年 3月31日

3. 指定管理者業務運営項目評価

評価項目	指定管理者		文化・交流課	
	自己評価	評価の理由	評価	評価の理由
1. 施設体制に関する評価	B	<p>協定書等に準拠した実施体制を整えており、利用者からの料金徴収、管理記録、緊急時対応、法令順守などの各項目について遅延・問題なく遂行している。</p> <p>また、公益法人コンサルタント、社会保険労務士より適切な指導を受けている。</p> <p>経験ある専門職員や有資格者を配置し、学校や市・関係団体との連絡調整も十分に行っている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の対応についても、焼津市の方針や各種ガイドラインを踏まえ、文化・交流課と綿密に協議を重ねて館の方針を決定した。</p>	B	<p>協定書に準拠し、経験ある専門職員・有資格者を配置して運営できている。所管課や学校等との連絡調整を十分に行い適正な体制を整えている。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の対応については、方針を策定したうえで、感染拡大防止対策の徹底に努めている。</p>

<p>2. サービス内容や水準に関する評価</p>	<p>B</p>	<p>コロナ禍においても、天文科学教育の拠点施設として、科学講座や著名な講師による天文科学講演会、教育機関や地域、企業等との連携事業を、感染症対策を講じて実施した。講演会にリモートを活用したり、部分日食などの天文現象を YouTube でライブ配信するなど、コロナ禍に対応する工夫を施した事業展開を行った。また、プラネタリウム・ワークショップなどの新規事業も実施した。</p> <p>来館者満足度調査では、「全体の満足度」が 99%、団体利用アンケートにおいても「満足」との回答が学校団体 99%、一般団体 100%となり高評価となった。</p> <p>有料入場者数は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う約 2 ヶ月間の計画外休館や以降の入場制限等の影響により、昨年度より 71,491 人の減少となった。団体利用についても、同様に 112 団体の減少となったが、感染症に対する規制が一時緩和傾向となった 10～12 月は月別で昨年度を上回る団体利用数となった。</p> <p>事故や機器故障等のトラブルについては、迅速な報告や対応を行い、問題の長期化や複雑化を避けた。</p>	<p>A</p>	<p>天文科学教育の拠点施設として、魅力ある多くの事業を開催し、利用促進に努め、天文・科学の普及に寄与している。コロナ禍に対応するリモート機能の活用や、動画配信サイトにてライブ配信など、コロナ禍において新たな事業を立ち上げる熱心な姿勢が伺える。</p> <p>入場者数について、新型コロナウイルスを理由として、昨年度に比べて大幅に減少しているが、10～12 月については昨年度を上回る団体利用人数となったことや、来館者満足度調査では、「満足」との回答率がほぼ 100%という高評価を得ている。</p> <p>施設管理においては、機器故障等のトラブルがあったが、迅速かつ真摯に対応し、問題の長期化や複雑化を避けることができた。</p>
<p>3. 収支等の評価</p>	<p>B</p>	<p>予算執行については公社会計規程に基づき執行している。会計システムを導入し、会計事務所の指導のもと適正に処理している。</p> <p>事業収支については、経年劣化等により緊急修繕等が多発しているが、事業費及び管理費の支出の抑制に努め、新型コロナウイルス感染症に関する不用額を含めて 15,000 千円を返還した。経営状況分析においては、コロナ禍であっても、それぞれの指標で営利を目的としない公益財団法人として普通以上から理想とする数字を維持している。</p>	<p>B</p>	<p>振興公社独自に会計システムを導入しており、会計事務所の指導のもと適正に処理されている。効率的な予算執行を心掛け、経費の縮減に努めている。また、安定した財政基盤が構築できている。</p>

総合評価	B	<p>ディスカバリーパーク焼津天文科学館の指定管理者として協定書等を順守し、適正な管理に努めた。また、コロナ禍に対応し、感染症対策を講じた上で、可能な限り科学教育の機会を提供し、天文や科学に対する興味・関心を高めることを心がけた事業展開に努めた。</p> <p>有料入場者数や団体利用数は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休館や入場制限等の影響により、昨年度より大幅な減少となったが、感染症に対する規制が一時緩和傾向となった10～12月には月別で昨年度を上回る団体利用があった。また、来館者満足度調査や団体利用アンケートでも高評価を得ている。</p> <p>収支については、新型コロナウイルス感染症に関する不用額を含めて15,000千円を返還し、経営分析指標も公益財団法人として理想とする数字を維持している。</p>	B	<p>天文科学館は学校の授業や事業を補助する役割を担い、積極的に天文科学教育の普及推進に尽力している。</p> <p>プラネタリウムについては、番組の自主製作により、多額の予算をかけずに定期的な入れ替えを可能にし、また子どもたちの興味関心をひきやすいアニメ番組の特別投影企画のほか、プラネタリウムコンサート、講演会の実施等、幅広い年齢層に対して話題性のある事業を展開し集客努力が感じられた。</p> <p>展示については職員の企画制作により経費削減に努め、親しみやすい展示は創意工夫が感じられる。</p> <p>このことから全般的な運営について評価できる点が多く、一定の水準を満たす管理内容であると考えられる。</p>
------	---	---	---	---

【評価区分】

- 評価基準：A（優良）協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。
- B（良好）協定書、仕様書等を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。
- C（課題含）協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。
- D（要改善）協定書、仕様書等を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。